

## 謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

國 司 昌 熙 氏	長門市医師会	2月 3日	享年 80
清 永 傳 次 氏	下関市医師会	2月 4日	享年 91
山 縣 宏 材 氏	山口市医師会	2月16日	享年 86
岡 崎 正 道 氏	下関市医師会	2月20日	享年 84

## 編 集 後 記

残り雪が白く輝く1月下旬の山口市にて、日本医師会、SBI子ども希望財団及び山口県医師会主催の「子育て支援フォーラム in 山口～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」が開催された。NPO法人「子どもの村福岡」の元理事長で小児科医 満留昭久 先生の「小児科医は、社会的要因の立場に立って子どもの健康を考え、行動すべき」の言葉や、その活動を支援する小児科医 豊原清臣 先生の「小児科医は、多くの虐待を受けた子どもたちを汽車に乗せたが、その汽車がどこに行ったか、子どもはどこで降りたかについては関心がなかった」の言葉は心に残るものであり、「小児科医」を「医師」に置き換えて心に留めておきたいと思った。児童福祉は戦後から連綿と続いた保護中心から養育（在宅：里親など）へとパラダイムシフトするとのことだが、高齢者福祉と児童福祉は似て非なる考え方（政策）であることをつくづく感じた。社会の脆弱な部分が子どもに向かっていくスパイラルは断ち切りたい。

お礼が最後になりましたが、本号で報告した「医師会報に関するアンケート」にご協力いただきました皆様に感謝いたします。いただきました貴重なご意見は今後の会報の充実に活かしていきます。

（常任理事 今村 孝子）